

平成30年4月 香美町教育委員会（定例会）会議録

【開会・閉会の年月日】

平成30年4月23日（月）午後2時00分～午後3時10分

【場所】

香美町村岡地域局3階 301会議室（香美町村岡区村岡390番地の1）

【会議に出席した者の職・氏名】

教育長	藤原 健一
教育委員	山崎 つるみ
	安田 優二
	野村 道彦
	吉田 加代子
事務局	
教育総務課長	片山 正幸
こども教育課長	楠田 千晴
こども教育課参事	磯田 英昭
生涯学習課長	中村 和弘
生涯学習課主幹	石松 崇
教育総務課主査	大城 優

【会議に欠席した委員の職・氏名】

なし

【議事日程】

会議に付した事件も、同じく別紙議事日程のとおりである。

1 開会

（教育長）開会宣言

2 会議録署名委員の決定

（教育長）会議録署名委員に吉田委員を諮り、全員承認

3 会期の決定

（教育長）会期は本日1日限り

4 会議録の承認

前回会議録を会議に諮り、全員承認

5 教育長報告

3月23日から4月22日までの期間（前回の教育委員会～昨日）に開催、出席した会議・行事等について資料により報告

6 議事

(1) 報告第1号 香美町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

（こども教育課長）

子ども・子育て支援法施行令の一部を改正する政令の制定に伴う改正

- 【政令】教育認定（1号認定）の幼稚園及びこども園の園児について、第3階層の利用者負担額の上限額を10,100円に引き下げ（旧：14,100円）
- 【町施策】同階層の利用者負担額を5,000円に引き下げ（旧：5,900円）
→国の基準の概ね1/2（5,050円の端数を切り捨て）

（教育長）

報告第1号を会議に諮り、全員異議なく承認

(2) 議案第12号 香美町保育の必要性の認定に関する条例施行規則の一部を改正する規則を定めることについて

（こども教育課長）

子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令の施行に伴う改正

- 支給認定の変更に関する事務負担を軽減

→3号認定を受けている子どもが満3歳に達した際の保護者への2号認定への切り替え案内の時期を「満3歳に達した日から年度末までの間」に緩和
→香美町は従前通りのスケジュールで運用

【質疑内容】

（安田委員）

4月1日が誕生日の子どもの場合は、どのような対応になるのでしょうか。

（こども教育課長）

4月1日生まれの方は3月31日の24時に次の年齢に達することになりますので、3月31日までの文書で通知することになります。

（野村委員）

保護者への更新案内のスケジュールはこれまでと同じであるとのことですが、今後案内する頻度が変わりましたら、保護者や現場への周知をよろしくお願いします。条文に年度末まで大丈夫であると書かれていても、通知が届かず不安に思われる方もいらっしゃると思います。

（こども教育課長）

了解しました。案内の頻度が変わる際には周知させていただきます。

（教育長）

議案第12号を会議に諮り、全員異議なく可決

(3) 議案第13号 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について

(こども教育課長)

学校歯科医及び学校薬剤師については、平成29年度から変更なし。

学校医については、下山医院の閉院に伴い、香住区内の全学校園を山本クリニックと公立香住病院に依頼

(教育長)

議案第13号を会議に諮り、全員異議なく承認

(4) 議案第14号 香美町指定文化財の指定について

(生涯学習課長)

香美町文化財審議会の答申について説明

○香美町指定文化財 指定物件

①帝釈寺：本堂（香住区下浜）

②黒野神社：本殿・皇大神社（村岡区村岡）

→現地調査の際、皇大神社についても町指定文化財相当であることを確認し答申に追加

③八幡神社：本殿・稲荷社・薬師堂（小代区貫田）

(生涯学習課主幹)

答申に追加された皇大神社の概要について説明

(教育長)

議案第14号を会議に諮り、全員異議なく承認

7 協議事項

(1) 香美町教育委員会：平成30年度学校訪問について

(こども教育課参事)

平成30年度は、校園所長が作成した『魅力ある学校園所』の内容をふまえながら、経営方針等について校園所長自らプレゼンテーションをしていただく。

2つのグループを編成し学校園を訪問。教育委員は、Aグループに参加（2名～/1か所）。希望校については、5月の定例会で日程調整

両グループ共に教育総務課長及び教育企画研修室長のどちらか1人が訪問

8 事務局報告

(1) 教育総務課・・・報告者：教育総務課長

○教育委員会事務局職員の人事異動について

→機構図により説明

○兵庫県市町村教育委員会連合会：理事会・定時総会・研修会について

→5月21日（月）に西宮市民会館で開催

(2) こども教育課・・・報告者：こども教育課長

なし

(3) 生涯学習課・・・報告者：生涯学習課長

- 「ふるさと語り部講座」について
→テーマ：『ジオパーク』に学び、伝える パートⅢ
- 「香住区（村岡区）中央公民館講座」について
- 「第5回香住・ジオパークフルマラソン大会」について
→4月28日（土）に香住区内で開催
→2,471人のランナーが参加予定
- 「ふるさと教育交流会」について
→11月18日（日）に香住区内で開催予定

9 その他

（安田委員）

昨日、村岡小学校のグラウンドで香美町の少年野球大会が開催されました。その際、レフト側に設置されている遊具に選手がぶつかったため遊具がゆがんでしまい、それを大人が元に戻すという一幕がありました。年に何回かは学校園の遊具の点検をされていることと思いますが、強度の確認も含め、あらためて再点検されてはどうかと思い、情報提供させていただきました。

（教育総務課長）

確認の上、対応させていただきます。

（教育長）

ぶつかった子どもは大丈夫でしたか。

（安田委員）

ファウルボールを追いかけていてぶつかったのですが、遊具が動いたことにより衝撃を吸収してくれたようで事なきを得ました。

（教育長）

それぞれの学校園で安全点検を行っていますが、学校以外に設置されている町の遊具についても再度点検を指示させていただきます。

（安田委員）

採用されて2～3年目の先生方の中で指導方法について迷いがあったり、行き詰まりを感じたりなどされている方がもしかしたらいらっしゃるのではないかと感じています。

新任の先生方へのフォローももちろん大切ですが、このような状況の先生方が相談できるような環境作りにもぜひ取り組んでいただきたいと思います。

（こども教育課長）

ご指摘いただいた点ですが、兵庫県では一昨年度から教職員の研修を見直しており、昨年度から初任者研修の後に2年次研修、3年次研修を実施しています。また、教育事務所のスーパーティーチャーと呼ばれる退職された先生方が、但馬管内の2～3年目の先生方を中心として随時学校訪問を行っています。教育委員会にも6名の指導主事がありますので、それぞれの担当校を中心に該当者の指導にあたるよう指示させていただきます。

（教育長）

2～3年目の先生については、私も特に気にかけています。新年度となり管内の校長先生の所へしょっちゅう足を運んで話を伺っていますが、どの学校でも若い先生方への指導体制についてきめ細やかに配慮しており、手厚く対応しているようです。私からも学校内で先生方が相談できる体制づくりについて再三お願いしています。また、課長の説明にもありましたように、本町には6人もの指導主事があります。指導主事が足しげく学校に出向き、現場の様子をよく知ってもらうことが一

番大切ですし、知り得た情報を教育委員会内で共有しながら再度現場へ出向き、先生方への指導と助言にあたることも非常に重要です。

もし委員の皆さん方の耳に現場の教師に対する情報が入ってまいりましたら、ぜひ私や教育委員会へ情報提供していただきたいと思います。

(野村委員)

村岡区の保育園が統合し、スタートしていると思います。通園状況を含め、苦情もなくスムーズにいらしているでしょうか。もし何か問題などがありましたら、保育園への支援をお願いしたいと思います。また、新園舎の計画について、進捗状況がわかれば教えてください。

(こども教育課長)

ご心配をかけております通園状況についてですが、私を含めこども教育課の職員が入れ代わり立ち代わり現状を確認しましたが、思ったほど混乱はしていませんし、地域の方からの苦情等も入っておりません。また、西村園長からのお困りの声についても、私の耳には入っておりません。通園バスについては、現在13名の園児が利用されているようです。今は保護者を含め関係者がお互いに交通安全について十分注意しながら通園していますが、慣れてくるとその意識が薄れてくる可能性があります。こども教育課としても職員が一丸となり、引き続き現場へ足を運び看視させていただきたいと考えています。

次に統合後の進捗状況についてですが、国の補助が決定し、平成30年度に事業を完了する予定で進めています。具体的には7月までに計画を終え、8月ごろに着工する予定です。

(山崎委員)

平成30年度が始まりました。香美町の子どものたちの人数は、平成29年度と比較して減っているのでしょうか。

(こども教育課長)

若干減っていますが、学校によっては少し増えているところもあります。極端な例でいいますと例えば村岡区の場合は、村岡・兎塚地区は減りますが、射添地区は5年間くらい同程度の人数で推移します。地域で差がありますが、香住区では相対的に6小学校とも人数が減少します。

(山崎委員)

やはり少子化は進んでいるわけですね。

(教育長)

間違いなく進んでいます。私が香住第一中学校の校長であったときから比べてもクラス数が半分になっていますから、この6～7年の間に極端に減っているのは間違いありません。ただ、それが今は少しだけ緩やかな減少傾向にあります。したがって、今後統廃合の問題が提起されるのは間違いのないのではないのでしょうか。

校長先生方にプレッシャーをかけるわけではありませんが、1人の先生が教える児童生徒が少人数であるという利点を生かし、きめ細やかに個に応じた対応を実践することにより、子どもたちに学力をしっかりとつけさせてやってほしいと常々お願いしています。

平成29年度に余部小学校を卒業した2人の子どもたちが「ここで学べてよかった」と卒業式の日に言ってくれました。在校生も「その思いを引き継いでいきたい」と言っていました。今後学校版教育環境会議の場でどのような結果が出るかはわかりませんが、作為的でなく自然に発せられた子どもたちの思いが反映されるような結果であってほしいと願います。

統廃合の問題については、教育委員会の主導ではなく、地域の皆さんの声を反映しながら進めていきたいと思っています。委員の皆さん方の耳に地域からの声が届いた際には、教育委員会へぜひともお繋ぎください。

(安田委員)

先日、奥佐津や長井小学校区の保護者の方から伺った話ですが、小学校時代にチャレンジプランでほかの学校と交流する機会があったおかげで、中学生になってから仲間作りに苦労せず容易に打ち解けることができているとのことでした。小規模校である柴山や長井、余部の子どもたちが「また会ったね」という感じで小学校時代に繋がりを築いた仲間として中学校で再会できることがとてもありがたいと話しておられました。

保護者からのチャレンジプランに対する高評価を伺ったので、とてもいいことだと思い報告させていただきました。

(教育長)

同じことを香住第一中学校の校長であった前田指導主事が話していました。

チャレンジプランは、現場の先生方や教育委員会の職員へ負担をかけることになるため非常に大変な取組ですが、今後もぜひ続けて行かなければならないと感じています。

【次回委員会の日程】

次回定例会は、5月25日(金) 午後2時～

10 閉会

香美町教育委員会会議規則第27条の規定によりここに署名する。

平成30年4月23日

教育長

藤原 健一

香美町教育委員会 署名委員

吉田 加代子

会議録作成者：教育総務課 主査 大城 優